

令和3年2月17日 13:00

国土交通省 四国地方整備局  
西日本高速道路株式会社 四国支社  
本州四国連絡高速道路株式会社  
気象庁 高松地方気象台

## 大雪の影響による通行止めの可能性について

《2/17. 10時現在》

～不要不急の移動はお控えください～

大雪の影響により四国地方の高速道路等で通行止めになる可能性があります。17日(水)10時時点の通行止めの可能性については、別紙-1をご参照ください。

また、別紙-2の区間においても大型車等の立ち往生車両の発生を未然に防止するために早めに通行止めを行い、除雪作業を行う場合があります。

やむを得ず自動車を運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着をお願いするとともに、最新の交通情報等をご確認いただきますようお願いいたします。

今後の気象予測につきましては、別紙-3をご参照下さい。

なお、今回の大雪の影響による通行止めの可能性につきましては、通行止め予測が収束するまで、約6時間毎に記者発表する予定です。

【無料区間に関する問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路管理課  
電話 087-811-8325 (直通)

【有料区間に関するお問い合わせ先】

NEXCO西日本 お客様センター  
電話 0120-924-863  
本州四国連絡高速道路株式会社  
電話 078-291-1023 (マスコミ専用)  
広報CS推進課 岡田、鈴木

【気象に関するお問い合わせ】

気象庁 高松地方気象台  
広域防災管理官 山野 浩一  
○ 主任予報官 片山 保  
電話 087-826-6123

最新の交通情報は以下のホームページをご確認ください。

◆日本道路交通情報センター (JARTIC)



<http://www.jartic.or.jp/>

◆四国地方整備局

道路情報提供システム

<http://www.skr.ml.it.go.jp/road/info/index.html>

◆NEXCO西日本



<https://ihighway.jp/>

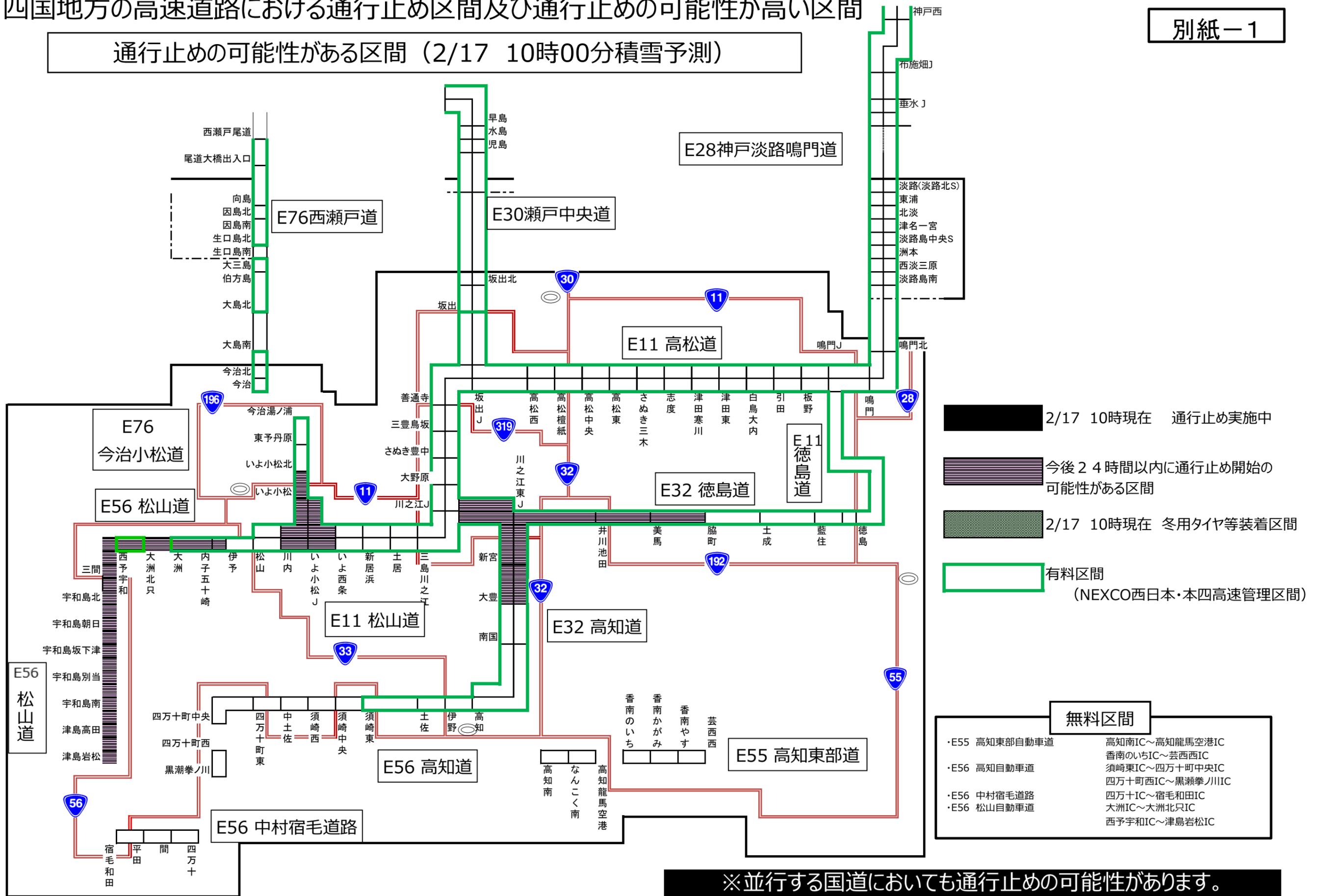
◆本四高速



<https://www.jb-honshi.co.jp/>

# 四国地方の高速道路における通行止め区間及び通行止めの可能性が高い区間

## 通行止めの可能性がある区間 (2/17 10時00分積雪予測)



※並行する国道においても通行止めの可能性があります。

# 令和2年度 予防的通行規制区間及びチェーン規制実施区間

○四国地方整備局が管理している道路においては、大型車等の立ち往生車両が発生する恐れが高い10区間を「予防的通行規制区間」として集中除雪を実施。その内、チェーン規制区間(1区間)を設定。

## 予防的通行規制区間とは

国が管理する道路において、大雪時に急な上り坂で大型車等が立ち往生しやすい場所等を選定し、集中的・効率的に優先して除雪を行う区間をいいます。

## チェーン規制区間とは

大雪特別警報等が発令され、冬用タイヤでの走行が困難な路面状況になった場合に、従来であれば通行止めとなる状況において、タイヤチェーン装着車の通行を可能とする区間をいいます。



番号	路線番号	箇所名	延長(km)	県名	事務所名
1	11号	桜三里	10.3	愛媛県	松山
2	32号	猪ノ鼻峠	13.4	香川県 徳島県	香川 徳島
3	32号	池田・山城・大豊地区	29.5	徳島県 高知県	徳島 土佐

番号	路線番号	箇所名	延長(km)	県名	事務所名
4	32号	大豊地区	11.2	高知県	土佐
5	33号	三坂峠	13.1	愛媛県	松山
6	56号	片坂	5.1	高知県	中村

番号	路線番号	箇所名	延長(km)	県名	事務所名
7	56号	知永峠	2.2	愛媛県	大洲
8	56号	法華津峠	5.6	愛媛県	大洲
9	56号	鳥坂峠	7.0	愛媛県	大洲
9	56号	鳥坂峠	7.0	愛媛県	大洲
10	192号	川滝～池田地区	16.9	愛媛県 徳島県	松山 徳島

冬の道路は、積雪や路面凍結が起こる箇所があります。

特に山地部や橋梁部・日陰部の積雪・路面凍結には注意が必要です。

**山地部** 平地部に比べ、山地部は2～5℃気温が下がるため、積雪・路面凍結に注意してください。

**橋梁部** 橋の上は他の箇所より早く凍結し始めます。特にカーブ上にある橋ではスリップに注意してください。

**日陰部** 山の北側など、日当たりが悪い路面は凍結している部分があるため、十分な注意が必要です。

【道路利用者等への呼びかけ】

- 四国地方では、18日夕方にかけて、山地を中心に大雪となり、平地でも大雪となる所がある見込みです。
- **降雪の時には不要不急の外出をお控え下さい。** やむを得ず運転する場合には、**冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行**をして頂くとともに、お出かけ前には**道路や気象に関する情報収集**をお願いします。

【1. 今後の気象の見通し】

令和3年2月17日から18日にかけての大雪

地域	2月17日		2月18日		
	昼	夜	朝	昼	夜
瀬戸内側	←→		←→		
太平洋側	←→		←→		

←→ 警戒すべき期間   ←→ 注意・警戒すべき期間   ←→ 注意すべき期間

【気象概況】

- 18日にかけて四国地方は強い冬型の気圧配置となる見込み。先月7日から9日と同程度の寒気が流れ込む見込み。
- 18日夕方にかけて、四国地方では山地を中心に大雪となり、平地でも大雪となる所がある見込み。
- 愛媛県では、雪雲が予想以上に発達した場合は、警報級の大雪となる可能性があります。
- 積雪や路面の凍結による交通障害に注意・警戒。雪による見通しの悪化、着雪による倒木や電線などの断線に注意が必要。
- 17日12時から18日12時までの24時間降雪量  
香川県 10センチ  
徳島県 平地15センチ 山地30センチ  
愛媛県 平地10センチ 山地30センチ  
高知県 平地 2センチ 山地20センチ
- ※大雪に関する気象情報については、気象庁HP ([https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/108\\_index.html](https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/108_index.html))をご覧ください。

【2. 過去の大雪による雪害事例】

平成26年12月4日から5日にかけての大雪

【気象概況】

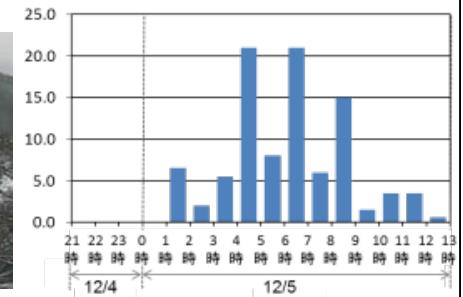
- 平成26年12月4日は、関東の東海上の低気圧が北東に進み、12月5日から6日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。
- この影響で、愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近では、12月4日から5日にかけて大雪となった。

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約130台＞

- 愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近では、平成26年12月4日から5日にかけて、大雪となった。四国中央市川滝では、時間降雪量が20cm以上の局地的な大雪となり、約130台の大規模な立ち往生が発生した。



立ち往生の状況



降雪量解析値 (四国中央市川滝) 【一般財団法人 日本気象協会提供】

＜改正災害対策基本法を初適用し立ち往生車両等を移動＞

- 全国で初めて、改正災害対策基本法を適用して、除雪車両の集中投入により、約130台の立ち往生車両を約17時間で移動完了した。



立ち往生車両の移動

